

# 井上誠一氏が手掛けた2大名門ゴルフ場でプレー!

栃木・名門ゴルフツアー



ハッピーゴルフスタッフ  
郡上がお届けします!

日光カンツリー倶楽部  
2014年9月17日(水)

本

日は、9月17日(水)、18日(木)に栃木県の名門ゴルフ場で開催した栃木ツアーの様子をご紹介します。

1日目は、「日光カンツリー倶楽部」に伺いました。日光CCは、知る人ぞ知る名門倶楽部ですが、第68回日本オープンゴルフ選手権で深堀圭一郎プロが劇的な逆転優勝を果たしたシーンと共に、井上誠一氏が設計したコースを目の当たりにした多くのゴルファーが、憧れのゴルフ場と位置付けるようになりました。日光CCのコースの特徴は、井上氏の設計による錯覚を利用した巧みな罠です。ティーグラウンドに立った時は、「とてもフラットな

コース」と感じるのですが、いざボールのところまで歩き出すと、全くそんなことはなく、フラットなところの方が少ないようです。今回ご参加頂いた方も「噂には聞いていましたが、これほど高低差があるとは思わなかった」とおっしゃっていました。皆さま、井上誠一氏の罠を存分に感じて頂けたようです。



そ

して、もう1つプレーされた方が驚かれるのが、コースの内の高低差が50m以上あるということですよ。キャディーさんに話を聞いてみると、プレーした後にそのことを明かしても皆さま信じがたいという顔をされるそうです。これも、井上誠一氏の設計の技術の1つですね。

日

光CCでは、他のゴルフ場では見たことがないものを見ることが出来ます。スタートホール前に水道があるのですが、なんと井戸水を引いているそうです。プレーヤーの方が飲めるようにコップも置いてあり、私も頂いたのですが、とても冷た

くておいしかったです！また、クラブハウスとコースの間に小川が流れており、ヤマメがいるほど水が澄んでいます。日光CCには自然を感じられる空間がたくさんありました。



2

日目の18日(木)は場所を変えて「那須ゴルフ倶楽部」に伺いました。

## 那須ゴルフ倶楽部 2014年9月18日(木)



那須GCのある地域は温泉地としても有名で、ゴルフ場に近づくにつれ温泉独特の硫黄の香りがしてきます。

## 今

回は前泊し那須GCのロッジに宿泊をさせて頂きましたが、24時間入れる温泉や、落ち着いた雰囲気の一部屋でゆつくりと過ごすことができました。夕食は、今回の開催で一緒にさせて頂いた設計者協会の方々との食事に、参加者の方と出席させて頂きました。那須GC名物のすき焼きを食べながら、設計者の方から普段決して聞くことのできない話をお聞きし、大変貴重な経験となりました。

翌朝の那須GCは、那須岳

の標高900mに位置するため気温が低く、肌寒いと感じるほどでした。那須岳の朝は空気が澄んでいて清々しかったです。那須GCは1日目の日光CCとはうってかわって、上りと下りがはつきりしています。上りのホールは空に近づいていくようで、とても不思議な感覚でした。標



高差は一番高い所と低い所では147mもあり、日光CC以上に、皆さんは驚かれています。また、那須GCはコースもさることながら景色も一流で、プレーと合わせて絶景もお楽しみ頂けます。コース自体は、自然の起伏と高原独特の風がハザード以上の役割をしていると言われて

いるだけあって、18ホールを通してバンカーが18個、池は1個しかありません。グリーンはアンジュレーションがきつく、参加者の方の中には、「魔女がいるグリーン」と揶揄する方がいらつしやる程でした。

プレー後の研修会ではグリーンキーパーの方から、コース設計や改修についてのお話を伺うことができました。

とても興味深い内容で、参加者の皆さまもうなずきながらお話を聞いていらつしやいました。



今回ご参加頂いた皆さま、本当にありがとうございました。日光CCも那須GCも、井上誠一氏が手掛けたとても素晴らしいコースですので、またプレーできる機会をご用意させて頂きます。今回ご都合が合わなかった方は、ぜひ次回にご参加下さいませ。